

## 教員年次研究報告書

(2009年1月～12月)

本学教員の教育研究活動の一部を学内外に報告することを目的として、「研究論集」に教員年次報告を掲載いたしております。大学の自己点検・自己評価に役立てることができれば幸いです。(掲載はアイウエオ順)

### 【共通教育センター】

江 草 浩 幸

1. (学会発表)、上下逆さ絵の見え(3)、共同(太城・江草)、関西心理学会第121回大会、11月15日、大阪人間科学大学庄屋学舎、大阪人間科学大学
2. (学会発表)、上体の位置が皮膚刺激の検出に及ぼす影響について、共同(下野・江草)、日本基礎心理学会第28回大会、12月5日、日本女子大学目白キャンパス、中央大学・日本女子大学

佐 野 正 彦

1. 「高卒労働市場の構造と高卒者の雇用への移行」(単著)『若者の教育とキャリア形成に関する調査』2007年第1回調査結果報告書 刊行者「若者の教育とキャリア形成に関する研究会」日本教育学会特別課題研究82-101頁、査読無、3月
2. (学会発表)、「イギリスにおける職業教育ルートをたどる若者の実態-大都市ロンドンの継続教育カレッジに学ぶ若者に関する第1回調査より-」(単独)日本産業教育学会第50回大会、10月17日、職業能力開発総合大学校、日本産業教育学会
3. (海外学術研究：個人)日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)「現代若者の労働市場への移行実態と移行・就労支援政策の効果に関する実証的研究」2007-2010年、代表(1280万)
4. (共同研究)、日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)「沖縄における若年者の移行過程とキャリア形成に関するコーホート調査」2007-2010年研究代表者・上間陽子、(1530万円)
5. (共同研究)、日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究A)「大都市部における若年者の教育・職業の移行過程とキャリア形成に関するコーホート研

究」2007-2010年、研究代表者・乾彰夫（4500万円）

6. (共同研究)、日本教育学会特別課題研究「若者の教育とキャリア形成に関する研究」2008-2009年、研究代表者・佐藤一子（500万円）
7. (共同研究)、社会保険労務士総合研究機構研究補助金「若年者雇用対策（青年期の雇用開発問題）に関する国際比較研究」2008年-09年、研究代表者・佐々木英一（100万円）

杉本節子

※主な学外活動

1. 大阪市立図書館業務委託事業者選定委員会委員、2008年11月26日～
2. (教育活動)、情報科学技術協会（INFOSTA）主催の「情報検索基礎能力試験」に参加（2009. 11. 22）本学の合格者10名（昨年7名）

千葉真也

1. (学会発表)、『手枕』における宣長の和歌と『源氏物語』の和歌、単独、鈴屋学会第26回大会研究発表会、4月19日、松阪市本居宣長記念館、鈴屋学会

※その他の活動

鈴屋学会常任委員

本多至成

1. 「西域における菩薩思想」、単著、12月、浄土真宗本願寺派勧学寮、2009）年度例会研究紀要、査読有、本多至成、pp.13-40
2. (講演)、「華に含まれて」、単独、平成21年度礼拝講演、10月1日、相愛大学南港学舎ホール、相愛大学宗教部
3. (講演・冊子)、「自力と他力」、単独、『法輪』第20号、pp.46-57

※その他の活動

1. 「クリーンアップ大阪」の美化活動に定期的に参加
2. NPO 団体「アジア協会」の活動支援を展開
3. ボーイスカウト八尾第1団団委員、同育成会長として奉仕活動に参加。(スカウト宗教章取得研修会の講師として講義。11月27日、大阪市東区本町津村別院)
4. 高齢者施設「咲洲特別養護老人ホーム」への慰問を行う。(12月10日、クリスマス慰問)

5. ミュージカル劇団「音芽」の新作「ブッダ」の監修者をつとめる。

山下 昇

1. 『メディアと文学が表象するアメリカ』、共著、10月、英宝社、総394頁

※その他の活動

1. 日本ウィリアム・フォークナー協会副会長、評議員（-2013年3月）
2. 日本アメリカ文学会編集委員、日本アメリカ文学会関西支部評議員（-2011年3月）

## 【音楽学部】

飯塚 一朗（管弦打楽器専攻）

1. (演奏会)、浜松フィルハーモニー管弦楽団、1月10日、浜松アクトシティーホール、指揮：工藤俊幸、共演：大倉由紀枝・黒田博、モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」抜粋、シュトラウス：ワルツ・ポルカ集
2. (演奏会)、奈良チェンバーオーケストラ、1月18日、奈良100年会館ホール、指揮：新田ユリ、メンデルスゾーン：フィンガルの洞窟 他
3. (演奏会)、相愛ウインドオーケストラポップスコンサート、3月13日、南港ホール、指揮：酒井六雄、共演：向井和久・八巻正輝・吉野竜、樹松岡恒介、ガーシュイン：ポギーとベス-金管5重奏とバンドのための-
4. (演奏会)、紀尾井シンフォニエッタ東京定期演奏会、5月15・16日、紀尾井ホール、指揮：ピエール・パレーズ、プーランク：シンフォニエッタ 他
5. (演奏会)、教員コンサート、6月9日、南港ホール、共演：久保田清二・中谷満・トランペット、トロンボーン専攻生、プレトリウス：テ・デウム
6. (演奏会)、相愛トランペットコアー、6月16日、南港ホール、指揮：若林義人、共演：中谷満・橋爪伴之・早坂宏明・嶋田明・八巻正輝・小西元司、トランペット、トロンボーン、打楽器専攻生、ワーグナー：マイスタージンガーより 他
7. (演奏会)、ラスカ祝祭管弦楽団、6月26日、平塚市中央公民館、指揮：手塚幸紀、共演：原田節・戸田弥生・花房晴美、山岸俊哉：祝典前奏曲、原田節：オンド・マルトノとオーケストラの為のコンサートサブリボワゼ、チャイコフスキー：バイオリン協奏曲二長調、ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番ハ短調 他
8. (演奏会)、大阪中学生サマー・セミナー「金管アンサンブルクリニック」講

師演奏、8月11・12日、南港ホール、共演：本学卒業、シャイト：戦いの組曲より 他

9. (演奏会)、相愛トランペットコアー 船場祭りオープニング出演、9月14日、共演：本学トランペット、トロンボーン、テューバ専攻生、ピルス：ファンファーレ 他
10. (演奏会)、八ヶ岳音楽祭金管アンサンブル演奏会、10月4日、八ヶ岳やまびこホール、共演：細洞寛・橘亮・小野隆弘 他、パーセル：トランペットチューン 他
11. (演奏会)、青森県立美術館アレコホール定期演奏会「楽の音・日本の音」ソロとアンサンブル演奏、10月17日、青森県立美術館アレコホール、共演：和田美亀雄・山本真、ボザ：バディナージ、バーンスタイン：リフイーのロンド、ネリベル：トランペット、ホルン、トロンボーンのための3重奏曲 他
12. (演奏会)、大阪フィルハーモニー交響楽団学校公演、10月20日、羽曳野小学校、指揮：円光寺雅彦、エルガー：威風堂々第1番 他
13. (演奏会)、相愛音楽教室鑑賞演奏会、10月24日、南港ホール、共演：本学卒業生と専攻科学生、パーセル：トランペットボランタリー 他
14. (演奏会)、関西トランペット協会発足式と演奏会、10月31日、南港ホール、共演：大阪フィルトランペットセクション、エッシャー：ファイブステップス 他
15. (演奏会)、龍谷大学吹奏学部定期演奏会、独奏出演、12月23日、琵琶湖ホール、指揮：若林義人、アルチューニアン：トランペット協奏曲、アンダーソン：トランペット吹きの日

#### ※その他の活動

1. 講習会、学外講師（レッスン）、大阪中学生サマーセミナー、8月11・12日、南港ホール（トランペット、金管アンサンブル講習会）、香川県立坂出高校音楽科、トランペットレッスン、2月30日・7月16日、私立就実高校吹奏学部、トランペットパートレッスン、7月15日
2. コンクール審査員、全日本吹奏楽コンクール、島根県大会（小学校、中学校、大学、職場一般の部）、8月1・2日、島根県芸術文化センターグラントワ、全日本吹奏楽コンクール 岐阜県大会（高校の部）、8月5日、岐阜羽鳥文化センター、全日本吹奏楽コンクール 島根県大会（中学校、高校の部）、8月7・8日・9日、福岡県アンサンブルコンテスト 福岡支部予選（中学校、高校の部）、12月12・13日、大野城まどかぴあ

石 村 真 紀 (音楽療法専攻)

1. (講演・ワークショップ)、単独、音楽療法講習会、2月8日、岡山ふれあいセンター、岡山県音楽療法研究会
2. (講演・ワークショップ)、共同(師岡カウンセリング研究所所長 師岡宏之他2名)、「心理臨床ワークショップ」、3月14日15日、茨城県日立市師岡カウンセリング研究所
3. 日本音楽療法学会近畿支部 課題研究委員会企画プレゼンテーション、「関係性の展開に目を向ける～自閉症の事例から～」、単独、3月21日、100分枠、大阪音楽大学オペラハウス
4. ラジオ関西生放送 出演、「すこやか介護のコーナー」、6月19日
5. (講演)、単独、平成21年度ひょうごヒューマンケアカレッジ音楽療法専門講座、7月31日・8月19日・26日、音楽療法事例学習「児童期」「青年期」「成人期」、兵庫県こころのケアセンター、(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 兵庫県こころのケアセンター事業部
6. (講演・ワークショップ)、単独、「音楽療法」、8月25日、日本女子大坪能研究室
7. (ワークショップ)、単独、「即興講座」、9月6日、岡山音楽療法研究会
8. 即興ライブ 共演(マリンバ石原興子、パーカッション福本聖子)、10月25日、「音・彩・想」、京都音楽院プロアルテホール
9. (ワークショップ)、単独、平成21年度ひょうごヒューマンケアカレッジ音楽療法専門講座(実技分野)、12月11日、「臨床即興技法の導入(1)」、兵庫県こころのケアセンター、(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 兵庫県こころのケアセンター事業部

泉 貴 子 (声楽専攻)

1. (オペラ)、「魔笛」、アルカイックホール、3月7日、佐藤康子・山田健司・米田哲二 他、相愛大学
2. (演奏会)、ひょうごアーティストサロン 3周年記念 クラシックコンサート、兵庫県公館(迎賓館)、3月22日、泉博子他、ひょうごアーティストサロン
3. (演奏会)、フレッシュコンサート2009、兵庫県立芸術文化センター小ホール、9月11日、蜷川千佳他、関西二期会
4. (演奏会)、教員によるコンサート～オペラの天才三人を歌う～、相愛学園本町講堂、10月29日、佐藤康子・山田健司・稲垣聡他、相愛大学

5. (演奏会)、堺シティオペラ **ETERNITY EIGHT CONCERT Vol.1** エタニ  
ティエイト、11月3日、田中勉・田中友輝子・岩城拓也他、堺シティオペ  
ラ

稲垣 聡 (ピアノ専攻)

1. (演奏会)、「アンサンブル・ノマド第34回定期演奏会“オランダ紀行2”」、  
六本木スーパーデラックス、3月2日、中川統雄：**Perfect imfectworld**  
(2009)、ルイ・アンドリーセン：ホケトゥス (1976) 共演：アンサンブル  
・ノマド、主催：アンサンブル・ノマド
2. (演奏会)、「創造館ワンコイン・オペラ」、しが県民芸術創造館、3月29  
日、メノッティ：オペラ「電話」、共演：ソプラノ／梅村憲子 (ルーシー)、  
バリトン／萩原次己 (ベン)、主催：(財) 滋賀県文化振興事業団
3. (演奏会)、「KEIBUN 25周年 春の感謝祭 3 DAYS～びわ湖音楽の春  
“GIFT” 2009～」、びわ湖ホール小ホール、4月5日、ベートーヴェン：ピ  
アノソナタ第14番 嬰ハ短調「月光」、ヴァイオリンソナタ第5番 ヘ長  
調「春」、共演：玉井菜採 (Vn)、主催：しがぎん経済文化センター
4. (演奏会)、「教員による SOAI Concert～伴奏法・ピアノ室内楽担当教員に  
よる～」、相愛大学南港ホール、6月30日、エルガー：愛のあいさつ、黒人  
霊歌 (ハイフェッツ編)：ディーブ・リヴァー、クライスラー：愛のよろこ  
び、ラヴェル：ラ・ヴァルス、共演：山本佳代 (Vn)・児嶋一江 (Pf)、主  
催：相愛大学
5. (演奏会)、「第25回〈東京の夏〉音楽祭 2009～日本の声・日本の音～、日  
本の電子音楽“佐藤聡明 作品集”」、草月ホール、7月11日、佐藤聡明：  
リタニア (1973)、太陽賛歌 (1973)、共演：小坂圭太 (Pf)、佐藤聡明 (デ  
ジタル・ディレイ)、有馬純寿 (音響)、主催：アリオン音楽財団、朝日新聞  
社
6. (演奏会)、「中川賢一&稲垣聡 ピアノデュオリサイタル」、ムジカーザ  
(代々木上原)、7月11日、ドビュッシー：牧神の午後への前奏曲、ラヴェ  
ル：ラ・ヴァルス、メシアン：アーメンの幻影、共演：中川賢一 (Pf)、主  
催：ムジカーザ
7. (演奏会)、「Male Box Concert」、ザ・フェニックスホール、8月20日、ベ  
ートーヴェン：自然における神の栄光、ヴェルディ：歌劇「オテロ」より、  
歌劇「リゴレット」より、ニュートン：アメージング・グレース、中田喜  
直：歌をください、山田耕筰：あわて床屋、待ちぼうけ 他、共演：川下

登、雁木悟、青木耕平、小玉晃、西尾岳史、菊田隼平 (Bar)、主催：Male Box

8. (演奏会)、「サウンド・ギア」、スタンフォード大学音楽学部 Campbell Recital Hall、10月9日、原田敬子：Structured Improvisation I-X (2004-2005)、Michelle Lou：Fissured、Pleated (2009)、Mauricio Rodriguez：|| ligero || (2009)、Leah Reid：Forged (2009)、Kevin Mendoza：Goûtez (2009)、共演：鈴木俊哉 (リコーダー)、シュテファン・フッソング (アコーディオン)、加藤訓子 (Perc)、クリストファー・ジョネス (Cond)、主催：スタンフォード大学音楽学部
9. (演奏会)、「Berkeley New Music Project」、カリフォルニア大学バークレイ校音楽学部 ハーツ・コンサートホール、10月12日、原田敬子：Structured Improvisation I-X (2004-2005)、Jen Wang：Orography (2009)、共演：鈴木俊哉 (リコーダー)、シュテファン・フッソング (アコーディオン)、加藤訓子 (Perc)、デーヴィッド・ミルネス (Cond)、主催：カリフォルニア大学バークレイ校音楽学部
10. (演奏会)、教員による SOAI Concert~Serata di tre geni オペラの天才三人を歌う~)、相愛学園本町講堂、10月29日、モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」より、歌劇「ドン・ジョバンニ」より、ヴェルディ：歌劇「アイダ」より、プッチーニ：歌劇「ボエーム」より、共演：佐藤康子、泉貴子 (Sop)、児玉祐子 (M. Sop)、馬場清孝 (Ten)、山田健司、片桐直樹 (Bar)、主催：相愛大学
11. (演奏会)、「社の都コンサート~池辺晋一郎の『ブラームスの音符たち』(10/31)、西村朗の『スピリチュアル音楽会』(11/1)~)、仙台駅2階ステンドグラス前、10月31日、11月1日、[10/31] ブラームス：ヴァイオリンソナタ第3番 第1楽章、ピアノ五重奏曲 第1楽章、眠りの精、まどろみはいよいよ浅く、ハンガリー舞曲第1番 他、[11/1] ベートーヴェン：エリーゼのために、ショパン：幻想即興曲、サン＝サーンス：序奏とロンドカプリチオーソ、メンデルスゾーン：歌の翼に、シューベルト：アヴェ・マリア 他、共演：池辺晋一郎、西村朗 (お話)、小松美穂、三浦道子 (Vn)、古川原裕仁 (Vla)、井上雅代 (Vc)、森川栄子 (Sop)
1. (レコーディング)、「勝間田裕子作品集」、富士見市民文化会館きらり☆ふじみ、9月7日、勝間田裕子：バラが薫れば… (1994)、主催：勝間田裕子

戎 谷 六 雄 (管弦打楽器専攻)

1. (演奏会)、指揮、第2回相愛ウィンドポップスコンサート、相愛大学南港ホール、3月13日、L. バーンスタイン：キャンディード序曲、L. アンダーソン：ブルータンゴ、ディズニーメドレー、L. バーンスタイン：ウエストサイドストーリーセレクション、G. ガーシュウィン：金管五重奏とウィンドアンサンブルのための組曲「ボギーとベス」、Tp：飯塚一郎、Tp：松坂恒介、Hr：向井和久、Tb：矢巻正輝、Yub：吉野竜城
2. (演奏会)、指揮、沙羅の木会京都支部 創立30周年コンサート、京都府民ホール・アルティ、4月26日、C. サン＝サーンス：動物の謝肉祭、語り：福村美輝、Fl：谷敏子、Cl：門小夜子、Per：佐藤けやき、Per：名越美樹、Pf：大住理恵、Pf：羽根田智子、Vn：池川章子、Vn.：佐々木晶子、Vla：中田美穂、Vc：斎藤建寛、Cb：長谷川順子
3. (演奏会)、指揮、高知大学医学部管弦楽団 第26回定期演奏会、高知市文化プラザ”かるぽーと”大ホール、9月13日、J. シベリウス：交響詩「フィンランディア」作品26、A. ハチャトゥリアン：組曲「仮面舞踏会」、L. van. ベートーヴェン：交響曲第7番イ長調 作品92
4. (演奏会)、指揮、親鸞聖人750回大遠忌法要記念 本願寺御影堂平成大修復完成記念 相愛大学－世界文化遺産西本願寺で奏でる－相愛オーケストラ御堂演奏会、9月20日、京都西本願寺御影堂、E. エルガー：威風堂々、大前哲：相愛学園創立120周年記念特別委嘱作品：「交響賛歌〈親鸞〉オーケストラと賛歌のための 作品144」
5. (演奏会)、指揮、交響賛歌「親鸞」を聞く夕べ、広島・ALSOKホール、10月9日、大前哲：相愛学園創立120周年記念特別委嘱作品：「交響賛歌〈親鸞〉オーケストラと賛歌のための 作品144」、合唱：崇徳高校グリークラブ
6. (演奏会)、指揮、相愛オーケストラ 第52回定期演奏会、シンフォニーホール、10月14日、J. ラター：弦楽のための組曲
7. (演奏会)、指揮、相愛大学音楽学部 作曲専攻生後期作品発表会、相愛大学南港ホール、11月25日、美馬佳世：「葛藤」、西村拓真：「The Relief of Soul」
8. (演奏会)、指揮、京都薬科大学管弦楽団 第37回定期演奏会、京都府長岡京記念文化会館、11月28日、C. グノー：歌劇「ファウスト」よりバレエ音楽、V. S. カリンニコフ：交響曲第1番ト短調
9. (演奏会)、指揮、芦屋室内合奏団 第43回定期演奏会、伊丹アイフォニッ



クホール、12月12日、A. ヴィヴァルディ：合奏協奏曲集「和声の靈感」  
第11番ニ長調 作品3-11、F. J. ハイドン：チェロ協奏曲 第2番 ニ長  
調 作品101、E. グノー：弦楽合奏曲「2つのノルウェーの旋律」作品  
63、W. A. モーツァルト：交響曲第40番 ト短調 KV.550、Vc：内田佳  
宏

10. (演奏会)、クラリネット、Musique de Chambre 室内楽コンサート、京都市呉竹文化センター 創造活動室、12月19日、J. ブラームス：クラリネット・ソナタ 第2番 変ホ長調 作品120-2、F. メンデルスゾーン：コンチェルトシットック第1番 ヘ短調 作品113、P：植田味香子、P：大谷祥子、Cl：竹辻美幸
11. (演奏会)、指揮、シティモ・クリスマスコンサート 相愛大学 女声合唱団「プリモラ」コンサート、大阪・KEIHAN CITYMALL 8階レストスペース、12月23日、クリスマスソング集

小 栗 まち絵 (管弦打楽器専攻)

1. (演奏会)、相愛チェンバーオーケストラ特別演奏会“J ハイドン没後200年記念”、相愛大学南港ホール、1月8日、ハイドン：交響曲第59番「火事」、交響曲第92番「オックスフォード」他、G. ボッセ (指揮)、主催：相愛大学
2. (演奏会)、いずみシンフォニエッタ大阪第21回定期演奏会“イギリス近現代音楽の魅力”、いずみホール、2月5日、ホルスト：セントポール組曲、ブリテン：シンフォニエッタ作品1他、下野竜也 (指揮)、主催：いずみシンフォニエッタ大阪
3. (演奏会)、喜志康一生誕100年記念コンサート、ザ・シンフォニーホール、3月31日、喜志康一：ヴァイオリン協奏曲、小松一彦 (指揮)、大阪フィルハーモニー交響楽団、主催：喜志康一生誕100年記念クラシックコンサート実行委員会
4. (演奏会)、ヴィオラスペース2009大阪公演、ザ・フェニックスホール、6月4日、ドヴォルザーク：三重奏曲作品74、長原幸太 (ヴァイオリン)、今井信子 (ヴィオラ)、主催：東京国際ヴィオラコンクール実行委員会

※その他の活動：

1. 「第13回松方ホール音楽賞」審査員・選考委員、松方ホール、8月7日9日、主催：神戸新聞文化財団
2. 日本演奏連盟 関西委員会委員、2009年度

3. 第21回宝塚ベガ音楽コンクール弦楽器部門審査員、宝塚ベガ・ホール、6月7日、6月28日

※受賞

1. 第44回(2009年度)大阪市市民表彰(文化功労部門)、大阪市公館、11月30日

児嶋一江(ピアノ専攻)

1. (演奏会)、勝部太・児嶋一江リーダーアーベント、カルラホール、3月29日、ベートーヴェン：遙かなる恋人に寄す、マーラー：子供の不思議な角笛ほか 共演：Bar. 勝部太
2. (演奏会)、高畠浩、ヴァイオリンリサイタル、津田ホール、4月11日、フォーレ、メシアン、プラークほか 共演：VI 高畠浩
3. (演奏会)、貴志康一“生誕100年記念コンサート”三木楽器開成館サロン、5月17日、ベートーヴェン、シューベルト、ブラームス：ソナタほか、共演：VI 三浦文彰
4. (演奏会)、レクチャーコンサート シリーズ第1回「世界で一番難しい金管楽器」、三木楽器開成館サロン、9月6日、ベートーヴェン、ブラームスほか、共演：Hr 村上哲
5. (演奏会)、ヴァイオリンリサイタル、大泉学園ゆめりあホール、9月21日、モーツァルト、フランク、ショーソンほか、共演：VI 茂木立真紀
6. (演奏会)、ホルンリサイタル、Dolce 楽器アーティストサロン、10月18日、F. シュトラウス、ベートーヴェンほか、共演：Hr ブルーノ・シュナイダー
7. (演奏会)、ヴォルフガング・ベッチャー、児嶋一江デュオリサイタル、名古屋宗次ホール、10月30日、ベートーヴェン、ドビュッシー、ショスタコーヴィッチほか 共演：Vc ヴォルフガング・ベッチャー
8. (演奏会)、レクチャーコンサート 第2回「祈り」、三木楽器開成館サロン、11月23日、黒人霊歌、リスト、バルトークほか、共演：Sop 井岡潤子
9. (演奏会)、勝部太・児嶋一江 モンテヴェルディ・ワーグナーの夕べ、カルラホール、2月29日 共演：Bar. 勝部太
10. (演奏会)、群馬県草津国際音楽祭アカデミー、草津国際音楽祭ホール、8月17日～30日

※学外活動

1. 全日本学生音楽コンクール大阪大会ピアノ部門審査員 9/13、17、18、

19、20、10/25

2. 全日本ピアノ指導者協会ピアノコンペティション審査員 7/4、5
3. 安川加寿子記念コンクール 2009 大阪予選審査 7/19
4. 長野県ピアノコンクール審査員 7/31、8/1、10/3、4
5. 日本ピアノ教育連盟オーディション審査 11/22
6. 滋賀県ピアノコンクール審査員 1/25、12/12、13

田 辺 良 子 (管弦打楽器専攻)

1. (演奏会)、いずみシンフォニエッタ第 21 回定期演奏会、2 月 5 日、いずみホール、藤倉大：“secret forest” 他
2. (演奏会)、田辺良子ヴァイオリンリサイタル、3 月 19 日、イシハラホール、ベートーヴェン：ソナタ 5 番他、ピアノ：黒瀬紀久子
3. (演奏会)、いずみシンフォニエッタ第 22 回定期演奏会、6 月 13 日、いずみホール、シュトックハウゼン：「5 つの星座」 他
4. (演奏会)、「夏祭りなになわなくとも室内楽」、7 月 17 日、フェニックスホール、ドビュッシー：ソナタ他、ピアノ：笹村直子
5. (演奏会)、「歴史と共に」シリーズ、8 月 6 日、京都文化博物館、ブラームスソナタ：1 番他、ピアノ：奈良希愛
6. (演奏会)、マイハート演奏会、10 月 20 日、広島国際会議場、ヴェルネル：ディヴェルティメント op.20 他
7. (演奏会)、いずみシンフォニエッタ第 23 回定期演奏会、11 月 28 日、いずみホール、ピアソラ：シンフォニエッタ他

※その他の活動

1. 第 11 回日本演奏家コンクール審査員、4 月 11 日、うはらホール
2. 第 63 回全日本学生音楽コンクール審査員、予選 9 月 4・5・6 日、本選 10 月 24 日、フェニックスホール、全国大会 11 月 29・30 日、横浜みなとみらいホール
3. 4th International Tadeusz Wronski Solo Violin Competition 審査員、9 月 25 日～30 日、ショパンアカデミーホール (ワルシャワ、ポーランド)
4. 第 20 回ヴァイオリンコンクール in KANAZAWA 審査員、11 月 8 日、石川県立生涯学習センター

中 谷 満 (管弦打楽器専攻)

1. (演奏会)、ジャパンプラスコレクション、アルカニックホール、2 月 16

- 日、コーブランド（川上肇編曲）、エル・サロン・メヒコ、呉信一、高橋敦、新田幹夫、等、(財) 尼崎市総合文化センター
2. (演奏会)、中谷 満とシュレーゲル、滋賀県民芸術創造館、3月28日、小長谷宗一作曲：ティンパニー協奏曲、E. コベッキ：蛇の歌、宮本妥子、西岡まり子、等、(財) 滋賀県文化振興事業団
  3. (演奏会)、相愛コンサート、相愛大学南港ホール、6月9日、大前 哲作曲：三人のティンパニー奏者の為のコスモ・トライアングル、E. カーター：四台のティンパニーの為の8つの小品、堀内吉昌、中村拓美、渡辺友希子、相愛大学
  4. (演奏会)、相愛トランペットコア、6月16日、相愛南港ホール、R. ワグナー：歌劇「ニエルンベルグのマイスタージンガー」他、飯塚一郎 (Tp)・若林義人 (指揮) 他
  5. (演奏会)、パール・パーカッションキャンプ、長野県 北志賀竜王 ヴィラ・チェリオ、7月30日～8月2日、サイドバイサイド、吉原すみれ、菅原淳、石内聡明、パール楽器製造 (株)
  6. (演奏会)、パーカッションアンサンブルの饗宴、浅草公会堂、8月6日、細谷 晋編曲：トムトムの戯れ、定成庸司、・森 茂、等、ムジカコスモスコンサート実行委員会
  7. (演奏会)、神戸市混声合唱団「秋の定期演奏会」、9月3日、神戸文化ホール、貴志康一：風雅小唄、かもめ他、J. コッコネン：レクイエム
  8. (演奏会)、室内アンサンブルの夕べ、平和堂財団20周年記念公演、びわ湖ホール大ホール、11月8日、k. オルフ：カルミナブラーナ、宮本妥子、等、平和堂財団

#### 山 本 英 二 (ピアノ専攻)

1. (公開講座)、ピアノ公開レッスン、単独、1月11日、相愛学園本町講堂、相愛音楽教室
2. (研究会)、ピアノ演奏法、単独、2月21日、原楽器 MC、原楽器店
3. (審査)、ヤマハグレード審査、共同、5月10日、ヤマハなんばセンター、(財) ヤマハ音楽振興会
4. (研究会)、ピアノ演奏法、単独、5月16日、原楽器 MC、原楽器店
5. (審査)、ピティナ・ピアノコンペティション地区予選、6月27日、ヤマハアベニューホール、(社) 全日本ピアノ指導者協会
6. (演奏)、教員による相愛コンサート、相愛大学南港ホール、6月30日、連

弾、2台ピアノ、共演：奈良希愛、山口博明、相愛大学

7. (審査)、ピティナ・ピアノコンペティション地区本選、共同、8月8・9日、バリオホール、(社)全日本ピアノ指導者協会
8. (審査)、ヤマハグレード審査、共同、9月6日、ヤマハなんばセンター、(財)ヤマハ音楽振興会
9. (研究会)、ピアノ演奏法、単独、9月12日、原楽器MC、原楽器店
10. (演奏)、マティアス ヘフス教授 (Tp) 公開レッスン&演奏、相愛大学南港ホール、9月19日、共演マティアス ヘフス (Tp)、相愛大学
11. (審査)、ヤマハヤングピアニストコンサート ロマン楽器本選会、共同、10月4日、栗東芸術文化会館ささら 大ホール、(株)ロマン楽器
12. (公開講座)、ピアノ公開レッスン、共同、10月16日、相愛学園本町講堂、相愛高校
13. (審査)、毎日こどもコンクール本大会、共同、10月18日、ルミエールホール大ホール、(株)第一楽器
14. (審査)、ピアノオーディション、共同、11月21・22日、神戸女学院大学、(財)日本ピアノ教育連盟
15. (演奏・講演)、広がる音楽表現、ヤマハ西新センター West Point、単独、12月15日、(財)ヤマハ音楽振興会西日本支部
16. (審査)、新響ヤングピアニストコンサート、共同、12月26日、宝塚ベガホール、新響楽器

米 田 哲 二 (声楽専攻)

1. (演奏会)、オペラ「魔笛」出演、相愛大学オペラ「魔笛」、尼崎アルカイックホール、3月、弁者役、指揮：梅田俊明、相愛大学
2. (演奏会)、オペラ「蝶々夫人」出演、関西フィルハーモニー特別演奏会、いずみホール、3月、シャープレス役、指揮：藤岡幸夫、蝶々夫人：佐藤康子、関西フィルハーモニー

若 林 正 史 (管弦打楽器専攻)

1. (演奏会)、相愛大学フルート・オーケストラ定期演奏会、相愛大学南港ホール、12月19日、E. Grieg: Aus Holbergs zeit op.40, T. Yoshimatsu: Chikap for flute orchestra op.14, R. Schumann: Symphony No.2 の Adagio espressivo, W. A. Mozart: Divertimento B-dur Kv-138, M. Ravel: Ma mere l'Oye. フルード専攻生、相愛大学

## 【人文学部】

石川 玲子 (英米文化学科)

※その他の活動

1. 日本ヴァージニア・ウルフ協会運営委員 (事務局・大会委員)

小野 真 (人間心理学科)

1. エルンスト・カッシーラーの供犠論の検討－仏教的立場から－、単著、3月、査読無、相愛大学研究論集第25巻、pp 1-17
2. (学会発表)、仏教儀礼論の可能性－カッシーラー、アサドを手掛かりに、単独、日本宗教学会第68回学術大会、9月13日、京都大学、日本宗教学会
3. (演奏)、第43回雅楽公演会、梅田芸術劇場、12月1日、舞楽「北庭楽」の舞人、天王寺楽所雅亮会の演奏者、天王寺楽所雅亮会
4. (演奏)、第147回センチュリー交響楽団定期演奏会、ザ・シンフォニーホール、12月17日、西村朗作曲「オーケストラのための〈蘇莫者〉」の舞楽振付と「蘇利古」の舞人、天王寺楽所雅亮会および大阪センチュリー交響楽団、指揮：沼尻竜典、大阪センチュリー交響楽団
5. *Rituelle Konzepte der Jōdoshin-Schule und die Musik* (「浄土真宗の儀礼観と音楽」：ドイツ語論文)、単著、12月、TAKAO AOYAMA (HG.) *HORIN-Vergleichende Studien zur japanischen Kultur Comparative Studies in Japanese Culture, Band 15* (2008) 2009年12月、S.219-244

嘉戸 一将 (日本文化学科)

1. 明治憲法体制における道徳と理性、単著、3月、相愛大学人文科学研究研究所研究年報第3号、相愛大学人文科学研究研究所、査読無、pp 1-13
2. 『北一輝』、単著、7月、講談社、総276頁
3. 『ナショナリズム論・入門』、共著、8月、有斐閣、大澤真幸・姜尚中、総405頁

木下 (森光) 有子 (英米文化学科)

1. 『英語 vs. 日本人－日本人にとって英語とは何か－』、共著、9月、開文社出版、森光有子・中島寛子、総362頁

呉 谷 利 充 (社会デザイン学科)

1. (講演)、異国情調の近代－大阪再発見－、相愛大学創立 120 周年記念公開講座、1 月 10 日、相愛大学 R 401
2. (社会活動)、平成 20 年 8 月～平成 21 年 8 月、志賀直哉旧居復元・監修、奈良市高畑大道町
3. 編著『志賀直哉旧居の復元』、共著、9 月、「志賀直哉における文学とすまい」、pp.3-40、発行・学校法人奈良学園、p.123
4. 「ル・コルビュジエにおける身体」、単著、日本建築学会計画系論文報告集 第 74 巻 第 638 号、査読有、4 月、pp.973-978
5. 明治末年の美学－文明と相貌－、単著、3 月、相愛大学研究論集第 25 巻、相愛大学、査読無、pp.109-137
6. 高畑のアトリエ『白樺サロン』第二号、3 月、pp.35-44
7. (講演)、大阪の近代建築と志賀直哉の住居観、単独、住宅産業フォーラム 21 研究会、8 月 24 日、大阪科学技術センター
8. (研究会)、郵便の日本文化、単独、社会デザイン「サロン」、9 月 16 日、社会デザイン学科合研

桑 原 義 登 (人間心理学科)

1. 児童虐待と臨床心理的地域援助、単著、3 月、相愛大学研究論集 25 巻、相愛大学、査読なし、pp 19-38
2. (講演)、「地域における児童虐待防止のネットワークづくり」～子どもがすこやかに育つ地域づくりについて～、1 月 26 日、岩出市文化福祉センター、岩出市
3. (講演・地域福祉推進フォーラム)、パネルディスカッション「地域でのつながり、支え合いを具現化するために」～さまざまな地域活動から学ぶ～、コーディネーター、1 月 29 日、和歌山市民会館市民ホール、和歌山県社会福祉協議会
4. (講演)、「メンタルヘルスケアとこころの緊急支援－アクシデントを乗り切るために－」2 月 16 日、和歌山高等専門学校大講義室、和歌山高等専門学校
5. (講演)、「異年齢児との関わりの中での育ち」、助言者、2 月 21 日、和歌山県文化会館、和歌山県保育所連合会
6. (講演)、特別講演会「メンタルヘルスを保つための心構え」、卒業記念特別講演会、2 月 25 日、大阪警察病院看護専門学校体育館、大阪警察病院看護

専門学校

7. (講演)、入所母子支援「困難ケースの対応」、助言者、6月18日、KKR ホテル大阪、平成21年度近畿母子生活支援施設研究大会、近畿母子生活支援施設協議会
8. (講演)、「障害者(児)の心理」、田辺市社協平成21年度視覚障害者移動支援従事者養成研修課程、10月31日、田辺市社会福祉協議会
9. (講演)、「子どもをめぐる諸問題」～いじめ、非行、不登校、ひきこもり、児童虐待～、第27回いのちの電話相談員全国研修会和歌山大会分科会、11月22日
10. (学会発表)、「社会的孤立から生じる生活課題解決への取り組み」～「住民主体」の可能性・方向性を探る～、パネルディスカッションアドヴァイザー、近畿地域福祉学会平成21年度大会、12月12日、民交流プラザ和歌山県ビッグ愛大ホール、近畿地域福祉学会平成21年度大会実行委員会

※その他の活動

1. (代議員等)、社団法人日本臨床心理士会代議員・和歌山県臨床心理士会会長
2. (委員)、日本地域福祉学会地区委員・近畿地域福祉学会平成21年度大会実行委員
3. (委員)、和歌山県社会福祉施設第三者評価事業推進組織委員長
4. (委員)、和歌山県人権施策推進審議会委員
5. (委員)、和歌山県立障害福祉施設のあり方検討委員会委員長
6. (委員)、和歌山県社会福祉審議会児童福祉専門分科会措置専門部会委員
7. (委員)、和歌山市要保護児童対策地域協議会代表者会議委員
8. (委員)、有田市次世代育成支援行動計画策定委員会委員長
9. (委員)、御坊市次世代育成支援行動計画策定委員会委員
10. (理事)、社会福祉法人和歌山社会施設事業会理事
11. (隊員)、和歌山県こころのレスキュー隊(指揮担当)
12. (理事)、社団法人和歌山いのちの電話協会理事
13. (理事)、社団法人紀の国被害者支援センター理事
14. (理事)、NPO 法人和歌山子どもの虐待防止協会副会長

紅 椽 英 顕 (人間心理学科)

1. 『歎異抄』の中心問題、単著、3月、日本印度学仏教学研究第57巻第二号、日本印度学仏教学会、査読有、pp70-78
2. 親鸞における念仏の真仮について、単著、12月、日本印度学仏教学研究第



佐々木 豊 (社会デザイン学科)

1. (学会発表)、「1950年代初頭の下院議会調査委員会とカーネギー財団—冷戦初期のアメリカ政治文化に関する一考察」、アメリカ学会第43回年次大会冷戦史研究部会、6月7日、津田塾大学
2. (学会発表)、「太平洋問題調査会と民際外交—現代的な第二トラック外交との比較の観点から」、日本アメリカ史学会第16回例会、7月25日、専修大学
3. (書評)、松田武『戦後日本におけるアメリカのソフト・パワー半永久的依存の起源』(岩波書店、2008年)、『OSIPP Newsletter (大阪大学大学院国際公共政策研究科ニューズレター)』No.50, 2009年4月、p.8.

鈴木 徳 男 (日本文化学科)

1. (講演)、『俊頼髓脳』における「所の名」について、単独、平成21年度日本文学風土学会秋季大会、11月7日・京都産業大学、日本文学風土学会

※その他の活動

1. 和歌文学会委員
2. 俊頼髓脳研究会事務局

砂 川 博 (日本文化学科)

1. 『一遍聖絵と時衆』、編著書、「時衆文化」第20号(金井清光先生追悼号)、岩田書院、10月
2. 「中世語り物文芸と女性—女性の果たした役割について—」、『女性歴史文化研究所紀要』第17号、3~14p、京都橘大学女性歴史文化研究所、3月
3. 「『一遍聖絵』第5の詞と絵(上・下)」、「時衆文化」第19号、1~30p、4月、『一遍聖絵と時衆』岩田書院、25~76p、10月
4. 「金井清光先生の人と学問」、『一遍聖絵と時衆』(岩田書院)、225~258p、10月

※その他の活動

1. 「時衆文化」編集代表

孫 久 富 (日本文化学科)

1. (研究発表)、中日古代文化の受容と変貌のプロセス、台湾玄奘大学国際シン

ポジウム、司会と研究発表、5月

2. 万葉の歌と中国の伝説－月人壮子・桂の木等を中心に－、針原先生古稀記念  
古代文学論文集執筆論文、12月

※その他の活動

1. 上代日本文学学会理事
2. 日中人文科学学会理事
3. 中国東北大学中日文化比較研究所日本側所長

Teresa Bruner Cox (英米文化学科)

Current research themes :

1. Study abroad experiences of Japanese university students. This year I produced an English language subtitled version of my video Japanese Students in North American Universities : Academic Challenge and Strategies for Success and I will present on this topic in the US in spring 2010.
2. Chinese culture and cultural values (comparing Chinese culture with that of Japan and USA)
3. Values and values orientations : building on the work of Kluckhohn and Strodtbeck and others, I am exploring whether the values of young Japanese are changing and perhaps moving closer to the values of Americans.

2009 Papers and Presentations :

May 24, 2009, Japan Association of Language Teachers (JALT) Pan-SIG Conference, Toyo Gakuen Daigaku, Chiba. "Differences in Academic Life in the USA and Japan and Coping Strategies of Japanese Ryugakusei."

鳥井正晴 (日本文化学科)

1. 漱石俳句撰 句あるべくも 8、11月、鎌倉漱石の會「門」第14・特大号

橋元淳一郎 (社会デザイン学科)

1. 時間と生命、単著、3月、相愛大学研究論集第25巻、相愛大学、査読無、pp 51-60
2. 物理的「時間」と人間的「時間」のはざま、単著、5月、ブリーフサイコセ

ラビー研究 vol.17 No.2、日本ブリーフサイコセラピー学会、査読無、pp 123-127

3. 『解析力学ノート』、単著、4月、講談社、176頁
4. 『0と1から意識は生まれるか』、単著、10月、早川書房、総344頁
5. 『時空と生命』、単著、12月、技術評論社、総190頁
6. (シンポジウム)、時空と生命、共同討議「時間と生命を語る」、8月21日、青山学院大学ガウチャーメモリアルホール、日本ブリーフサイコセラピー学会 第19回東京大会
7. (巻頭エッセイ)、文系と理系の垣根、単著、6月、月刊『言語』 vol.38 No.6、大修館書店

初 塚 眞喜子 (人間心理学科)

1. 愛着理論と臨床領域－生涯にわたるアタッチメントの発達の視点から－、単著、3月、相愛大学研究論集第25巻、相愛大学、査読無、pp.61-80
2. 『乳児保育－科学的観察力と優しい心－(第二版)』、共著、4月、建帛社、川原佐公・古橋紗人子以下12名省略、総181頁
3. (講演)、自閉症スペクトラムへの音楽療法の効果に関するアナログ研究－High-AQ群と平均AQ群の比較－、単独、7月18日、神戸市青少年会館、関西青年心理学研究会
4. (講演)、発達障害とアタッチメント、単独、10月17日、和歌山県子ども・女性・障害者相談センター、和歌山県臨床心理士会

※その他の活動

1. 和歌山県臨床心理士会理事 (子育て支援担当理事)
2. 平成21年度科学研究費補助金 (基礎研究B) 課題番号19330210 (研究代表者東條吉邦) 研究課題：自閉症に理解しやすい音声指示のあり方の解明。研究分担者として音受容と対人関係の変化の関係の検討

藤 谷 忠 昭 (社会デザイン学科)

1. 『個人化する社会と行政の変容－情報、コミュニケーションによるガバナンスの展開』、5月、単著、東信堂、総304頁
2. 「住民の参加意識」、3月、『総合計画策定のための住民アンケート結果報告書』、兵庫県丹波市、単著、査読無、pp.80-85
3. 「支え合う社会をつくる」、3月、『研究年報』第3号、相愛大学人文科学研究所、単著、査読無、pp.35-38

4. 「循環型社会システム構築というネットワーク戦略－福井県今立郡池田町の環境政策を事例に」、7月、『離島および山村地域の政策課題に関する実証的研究』第3号、地方自治研究会、単著、査読無、pp.15-24
5. 「小規模自治体の住民参加についての統計的分析」、7月、『離島および山村地域の政策課題に関する実証的研究』第3号、地方自治研究会、単著、査読無、pp.167-172
6. 「市民の時代 (1)－行政から市民へ」(コラム)、1月、「O-ネット通信」第54号、特定非営利活動法人・介護保険市民オンブズマン機構・大阪
7. 「市民の時代 (2)－行政が呼びかける」、5月、第55号
8. 「市民の時代 (3)－ポスト公共事業のゆくえ」、7月、第56号
9. 「市民の時代 (4)－国境離島の苦闘」、9月、第57号
10. 「市民の時代 (5)－新しい公共性の下で」、11月、第58号
11. (学会発表)「非合併自治体における戦略的『外部』関係－変動期社会における離島および山村地域の課題 (6)」、単独、第80回「日本社会学会」大会、10月、於立教大学
12. (学外講義)「市民オンブズマン活動の概要と魅力」、単独、第10期・市民オンブズマン養成講座、6月、介護保険市民オンブズマン機構・大阪
13. (学外講義)「社会調査法とアンケート作成」、単独、「高齢社会を考える会」研究会、8月、日本消費者センター関西支部

※その他の活動

1. 共同研究者、離島振興策に見る政府間関係の行政社会学的実証研究、12月～2011年3月、日本証券奨学財団・研究調査助成研究、研究者代表：佛教大学 青木康容
2. 介護保険市民オンブズマン活動会員、2005年11月～、介護保険市民オンブズマン機構・大阪

益 田 圭 (社会デザイン学科)

1. 『人権年鑑 2009』、共著、3月、解放出版社、部落解放・人権研究所編、総351頁

山 本 幸 男 (日本文化学科)

1. 「華厳宗関係章疏目録－勝宝録・円超録を中心に－」、単著、3月、相愛大学人文科学研究所『研究年報』第3号、査読無、PP.25-34
2. 「東大寺華厳宗の教学と実践－天平勝宝3年の「章疏目録」を通して－」、

単著、5月、南都仏教研究会、『南都仏教』第91号、査読有、PP.90-122

※その他の活動

1. 正倉院文書研究会幹事（1992年～）

横原 恭士（人間心理学科）

1. 「情報概念の情報獲得過程からの考察」、『相愛大学研究論集』第25巻、3月

\*主な研究活動 言語の情報量、情報の概念と分類、非言語による情報伝達

## 【人間発達学部】

岩口 摂子（子ども発達学科）

1. 保育者養成における音楽教育の基礎研究3-学生によるピアノの授業評価の分析-、共著、3月15日、相愛大学研究論集、第25巻、査読無、岩口摂子・今岡淑子・大橋邦康・田口友子・西野雅千子・山本景子・横山由美子、pp.151-168

岩堂 美智子（子ども発達学科）

1. (講演)、「親・子・地域が育つ子育て支援」、子育て支援講演会、2月10日、クレオ大阪中央館大ホール、大阪市こども青少年局・大阪市民生委員児童委員連盟主催

※その他の活動

1. (編集協力)、大阪市こども青少年局子育て支援部・ガイドブック作成委員会、～2009年2月、『親・子・地域が育つ子育て支援ガイドブック』、大阪市こども青少年局発行、全41頁
2. (監修・共同研究)、大阪府教育委員会・社会教育部門・教材作成委員会、～2009年5月、『「親」をまなぶ・「親」をつたえる（親となる準備期）簡易版教材』作成、大阪府教育委員会・地域教育振興課発行、全8頁
3. (インターネットによる育児指導)、読売オンライン関西発・教育・子育て部門・育児ネット、『育児・ヒントの広場』アドバイザー、2007年～、読売新聞社

太田 美穂（発達栄養学科）

1. 『応用栄養学 栄養マネジメント演習・実習』、共著、3月、医歯薬出版(株)、竹中優・土江節子編 土江節子・太田美穂著(以下8名省略)、総225

頁

2. Metabolism of 1  $\alpha$ ,25-dihydroxyvitamin D<sub>2</sub> by human CYP 24 A 1、共著、3月、Biochemical and Biophysical Research Communications 384、査読有、N. Urushino, K. Yasuda, M. Ohta, T. Sakaki(以下2名省略)、pp 144-148
3. Synthesis of 2  $\alpha$ -propoxy-1  $\alpha$ ,25-dihydroxyvitamin D<sub>3</sub> and comparison of its metabolism by human CYP 24 A 1 and rat CYP 24 A 1、共著、5月、Bioorganic & Medicinal Chemistry 17、査読有、N. Saito, Y. Suhara, M. Ohta, K. T. Sakaki, A. Kittaka (以下5名省略)、pp 4296-4301
4. Enzymatic properties of cytochrome P 450 catalyzing 3'-hydroxylation of naringenin from the white-rot fungus *Phanerochaete chrysosporium*、共著、6月、Biochemical and Biophysical Research Communications 387、査読有、N. Kasai, S. Ikushiro, M. Ohta, T. Sakaki(以下5名省略)、pp 103-108
5. (学会発表)、Analysis of flavonoid and dioxin hydroxylation catalyzed by *Phanerochaete chrysosporium* cytochrome P 450 (白色腐朽菌 *Phanerochaete chrysosporium*由来シトクロム P 450 によるフラボノイド及びダイオキシン水酸化反応の解析)、共同、笠井則行・太田美穂・榊利之(以下6名省略)、日本農芸化学会 2009 年度大会、3月、福岡国際会議場、日本農芸化学会
6. (学会発表)、CYP 105 A 1 二重変異体を発現する放線菌を用いた活性型ビタミン D<sub>3</sub> の生産、共同、林恵子・太田美穂・榊利之(以下4名省略)、日本ビタミン学会第 61 回大会、5月、京都学園大学、日本ビタミン学会
7. (学会発表)、ヒトおよびラット由来 CYP 24 A 1 による 1  $\alpha$ 、25-ジヒドロキシビタミン D<sub>2</sub> の代謝、共同、漆野菜穂子・太田美穂・榊利之(以下3名省略)、日本ビタミン学会第 61 回大会、5月、京都学園大学、日本ビタミン学会
8. (学会発表)、Antiproliferation activity and metabolism of 25-hydroxyvitamin D<sub>3</sub> in human prostate cells (ヒト前立腺由来培養細胞における 25-ヒドロキシビタミン D<sub>3</sub> の代謝と細胞増殖抑制作用)、共同、宗網栄二・太田美穂・榊利之(以下5名省略)、第 82 回日本生化学大会、10月、神戸国際会議場他、日本生化学会
9. (学会発表)、Production of active form of vitamin D<sub>3</sub> by *Streptomyces lividans* cells expressing a double mutant of CYP 105 A 1 (CYP 105 A 1

二重変異体を発現する放線菌を用いた活性型ビタミン D<sub>3</sub> の生産)、共同、安田佳織・太田美穂・橘高敦史(以下6名省略)、第82回日本生化学大会、10月、神戸・神戸国際会議場他、日本生化学会

10. (研究会発表)、テンペと食育 大学における取り組み 体験と展示「カラフルテンペ団子について」、共同、太田美穂・新宅賀洋、日本テンペ研究会平成21年春季集会、7月、畿央大学、日本テンペ研究会

※その他の活動

1. 日本生化学会評議員(2009年1月~12月)
2. 日本栄養改善学会評議員(2009年1月~12月)
3. 日本テンペ研究会常任役員(2009年1月~12月)
4. 日本調理科学会近畿支部委員(2009年1月~12月)

川 上 瑩 子(発達栄養学科)

1. 本学発達栄養学科学生の食生活に関する意識調査(第1報)、共著、3月、相愛大学研究論集 25、査読無、川上瑩子、多門隆子、前田昭子、pp.89-103

川 中 美津子(子ども発達学科)

1. (論文)、「団塊世代女性がつくる…次世代高齢層のニューライフモデルの一考察」、共著、3月31日、ファッションビジネス学会、ファッションビジネス学会論文誌 Vol.14、査読有、白坂文・林仁美他3名、pp.51-61
2. (学会発表)、「ラグジュアリー・ブランディングにおけるテイスト・セグメンテーション戦略」、単、第5回日本感性工学会春季大会、3月27日、宝塚造形芸術大学大阪梅田キャンパス、日本感性工学会、予稿集 NO.14 D-01 (CD-R)
3. (学会発表)、「イタリア・ラグジュアリー企業ブランディング戦略研究 DOLCE & GABBANA ブランディング事例を中心に」、共同、宮武恵子他2名、第11回日本感性工学会大会、9月8日、芝浦工業大学豊洲キャンパス、日本感性工学会、予稿集 NO.1 C 2-2 (CD-R)
4. (学会発表)、「ラグジュアリー・ブランディングの感性価値創造とそのロジックの解明 1: ファッション美学アプローチ」、共同、菅原正博他2名、第11回日本感性工学会大会、9月8日、芝浦工業大学豊洲キャンパス、日本感性工学会、予稿集 NO.1 C 2-5 (CD-R)
5. (学会発表)、「ラグジュアリブランドビジネスのベンチマークとしての Dolce and Gabbana」、共同、宮武恵子他2名、第11回日本感性工学会大会、9

月9日、芝浦工業大学豊洲キャンパス、日本感性工学会、予稿集 NO.2 B 2  
-3 (CD-R)

塩見 邦雄 (子ども発達学科)

1. (訳書)、折衷カウンセリング、監訳、誠信書房
2. (論文)、①George G. Bear, Ximena Uribe-Zarain, Maureen A. Manning, Kunio Shiomi Shame, guilt, blaming, and anger : Differences between children in Japan and the US *Motivation & Emotion* (2009) 33 : 229-238 (米国の心理学研究誌)  
②塩見邦雄・多田智栄子 学校心理学における心理教育的アセスメントの意義と方法, 日本学校心理士会年報 第1号 (2008年度), 11-16.
3. (基調講演)、「学校心理士の新しいアイデンティティを創出する」、日本学校心理士会 2009年度大会、8月10日、エル・おおさか (大阪)
4. (研修指導)、「心理教育～『こころの授業』～」、日本学校心理士会 2009年度大会、8月11日、於エル・おおさか (大阪)、講師 (他に、高居美鈴、岡恵子、川島則章、多田智栄子、黄喜珊)
5. (学会発表)、学級集団の機能と共同学習の実践に関する考察、日本応用教育心理学会第24回大会、11月28日、神戸私学会館  
川島則章・塩見邦雄、こころの授業の実践についての研究 (2)、日本教育心理学会第51回総会、9月22日、静岡大学
6. (新聞記事)、大阪日々新聞・日本海新聞 (同時掲載)、1月25日、「学習の進捗、学級経営サポート～日本の教育に合った学校心理士」
7. (新聞記事)、大阪日々新聞・日本海新聞 (同時掲載)、11月22日、「基礎学力形成に重要～「勉強の仕方」を教え込む」
8. (新聞記事)、大阪日々新聞・日本海新聞 (同時掲載)、12月27日、「親が指導し習慣形成を～「勉強の仕方」を教え込む」
9. (教育実践)、「こころの授業」小学校授業実践、京都市立音羽川小学校、12月18日、5月25日
10. (学会開催)、日本学校心理士会 2009年度大会 8月11日、エル・おおさか、大会副委員長

※その他の活動

1. 日本教育実践学会会長
2. 日本応用教育心理学会理事長
3. 学会連合資格「学校心理士」認定運営機構理事長



4. 「教育・発達」心理資格連絡協議会代表
5. 兵庫県学校心理士会会長
6. 日本・内蒙古教育交流会会長
7. 日本教育心理学会常任理事
8. 「臨床発達心理士」認定運営機構常任理事
9. 特別支援教育士資格認定協会連携委員
10. 日本応用教育心理学会研究誌編集委員長

田 中 陽 子 (子ども発達学科)

1. 十五年戦争下における更生利用の推進と裁縫科教師の問題関心、単著、7月、日本家庭科教育学会誌第52巻第2号、日本家庭科教育学会、査読有、pp.119-129
2. 十五年戦争下の衣服論議について－雑誌『被服』を中心として－、単著、10月、日本家庭科教育学会誌第52巻第3号、日本家庭科教育学会、査読有、pp.184-194
3. 1937年から1945年までの戦時下における被服統制と供給事情、単著、10月、日本家庭科教育学会誌第52巻第3号、日本家庭科教育学会、査読有、pp.203-211
4. 子どもの周辺、単著、4月25日、日本海新聞・大阪日日新聞、朝刊第10面

多 門 隆 子 (発達栄養学科)

1. 公衆栄養学実習学内編、A4版全161頁、本人担当部分：p125～134、共著、今木雅英・多門隆子他、(株)南山堂、3月
2. 産官学連携食育のポピュレーションアプローチとしての課題、共著、丸谷宣子・多門隆子・水野浄子他、相愛大学研究論集第25巻、3月、P.113～137
3. Fundamental Theories and Educational Contents of Diet and Nutrition Education Adapted to Human Development and Behavior Changing、共著、NOBUKO MAYUYA, SACHIKO MARUYA, RYUKO TAMON, SEIKO MIZUNO, YOKO MURAI, TOMIYO NAKAMURA、相愛大学研究論集第25巻、3月、139～149
4. 本学発達栄養学科学生の食生活に関する意識調査(第1報)、共著、川上螢子・多門隆子・前田昭子、相愛大学研究論集第25巻、3月、P.89～103
5. (学会発表等)、①「府民が選ぶヘルシーメニュー人気コンテスト」応募メニューの栄養価等の解析(第1報)、共同発表、第68回日本公衆衛生学会、10

月、第 68 回日本公衆衛生学会会長優秀賞受賞

②大阪府食育推進プロジェクト（第 23 報）他 7 件、第 68 回日本公衆衛生学会、10 月、共同発表

6. (講演)、①和泉市地域活動栄養士会 20 周年記念総会、6 月、②(社)大阪府栄養士会生涯学習研修会、8 月、③相愛大学公開講座、11 月、④大阪府保健所栄養士研修会、12 月

※主な学外活動

1. 豊中市食育推進協議会 委員 2007-
2. 大阪府卸売市場審議会 委員 2007-
3. 大阪府保健医療部食育フェスタ検討会 委員 2007-
4. 大東市食育推進計画検討会 委員 2008-
5. 大阪市住之江区食育推進ネットワーク会議 委員 2008-
6. 大阪府環境農林水産部審議会 委員 2009-

中 西 利 恵 (子ども発達学科)

1. 『『子育て支援』の実践力を高める保育者養成方法の研究 (その 2) - 特に親と対話する力を高めるための教育方法の開発 -』、共著、3 月、相愛大学研究論集第 25 巻、相愛大学、査読無、pp.169-192
2. 「保育者養成校学生の理科に対する意識の研究 (1) - 他の教科との比較検討 -」、共著、3 月、湊川短期大学紀要第 45 集、湊川短期大学、査読無、pp.1-14
3. (学会発表)、「連絡帳を活用し低年齢児保育と保護者支援への理解を高める研究」、単独、日本保育学会第 62 回大会、5 月 17 日、千葉大学、日本保育学会
4. (学会発表)、「保育科学生の社会的行動に関する意識と行動 - 1. 年代差について 1977 年・1999 年・2008 年の比較 -」、共同、倉戸直実・倉戸幸枝・中西利恵以下 6 名略、全国保育士養成協議会第 48 回研究大会、9 月 11 日、東北福祉大学、全国保育士養成協議会
5. (学会発表)、「保育科学生の社会的行動に関する意識と行動 - 2. 学校差について -」、共同、倉戸直実・倉戸幸枝・中西利恵以下 6 名略、全国保育士養成協議会第 48 回研究大会、9 月 11 日、東北福祉大学、全国保育士養成協議会
6. (講演)、「保護者支援について」、単独、第 3 回乳児保育研修会、1 月 26 日、大阪市立中央青少年センター、社団法人大阪市私立保育園連盟

7. (講演)、「改訂保育所保育指針について①性格と概要／②保護者支援や連携」、単独、三田市保育所保育指針研修会、①6月19日／②8月28日、三田市まちづくり協働センター、三田市こども課
8. (講演)、「乳児期の保育について－子どもの発達と保育士の援助のあり方－」、単独、平成21年度事業所内保育施設等保育従事者研修会、9月5日、山西福祉記念会館、財団法人こども未来財団&社会福祉法人枚方療育園
9. (講演・指導)、「子どもの心と身体を育てる援助のあり方①／②」、単独、平成21年度大阪市保育所職員研修「乳児保育研究会」、①6月8日／②11月9日、大阪市役所、大阪市こども青少年局
10. (シンポジウム)、「悲鳴をあげている施設保育士養成の現場よりよき実習に向けての施設・養成校・行政の協働」、第30回養成校と児童施設との研究懇談会、7月13日、大阪府社会福祉指導センター、大阪府児童部会&大阪府社会福祉協議会
11. (シンポジウム・分科会)、「地域子育て支援拠点について一緒に考えよう」「スタッフに求められる力」、地域子育て支援拠点研修事業、12月5日、山口南総合センター、財団法人こども未来財団・NPO法人子育てひろば全国連絡協議会

※その他の活動

1. (報告書)、「なにわっ子わくわく未来プログラム－就学前児童の健全育成に向けたプログラム－」、大阪市こども青少年局企画部企画担当、フィールドワーク指導テーマ：養育者との愛着形成、3月
2. 社団法人全国保育士養成協議会 専門委員(構成：全国7ブロックより計14名)、全国保育士養成協議会、平成20年5月～平成24年5月
3. 大阪市保育所職員研修「乳児保育研究会」助言者・講師、大阪市、平成21年4月～平成22年3月
4. 八尾市児童福祉審議会委員、八尾市、委嘱期間：平成21年5月～平成22年3月
5. 地域連携部会(まちづくり・子育て支援)推進委員会委員、特定非営利活動法人大学コンソーシアム大阪、平成21年9月～平成22年7月
6. 兵庫県三田市子育て支援ワーキング委員、平成14年9月～平成22年3月

中村富予(発達栄養学科)

1. 『運動と免疫－からだをまもる運動のふしぎ－』、共著、9月、NAP、大野秀樹・木崎節編、中村富予・石川秀樹、pp 104-107

2. 『潰瘍性大腸炎と上手につき合う本』、共著、12月、三雲社、石川秀樹著、竹山育子・中村富子、pp 161-168
3. Chemoprevention of colorectal cancer in Japan : a brief introduction to current clinical trials、共著、1月、J Gastroenterol、査読有、H Ishikawa, T Nakamura、以下3名、pp 77-81
4. ダイエット教室の実施方法に関する研究、共著、3月、相愛大学研究論集 25、査読無、中村富子、景山洋子以下3名、pp 105-112
5. 産官学連携食育のポピュレーションアプローチとしての課題、共著、3月、相愛大学研究論集 25、査読無、丸谷宣子、以下3名、中村富子、以下15名、pp 113-137
6. Fundamental theories and educational contents of diet and nutrition education adapted to human development and behavior changing、共著、3月、相愛大学研究論集 25、査読無、N Maruya 以下4名、T Nakamura、pp 139-149
7. 在宅訪問栄養食事指導の実態とその課題（第1報）、共著、3月、武庫川女子大学紀要 56、査読無、爲房恭子・中村富子・達妙美、pp 113-119
8. 家族性腫瘍患者・家族のサポートグループにおける医療者の役割、共著、5月、家族性腫瘍学会、査読有、川崎優子・権藤延久・佐伯智子・中村富子以下2名、pp 46-52
9. 在宅訪問栄養食事指導におけるニーズの実態とその関連因子の検討、共著、5月、大阪ガスグループ福祉財団研究・調査報告書 22、爲房恭子・中村富子・達妙美、pp 9-14
10. (学会発表)、ダイエット教室参加者の内臓脂肪、共同（筆頭）、第7回日本栄養改善学会近畿支部学術総会、3月、大阪
11. (学会発表)、間接熱量測定と予測式による基礎代謝量・安静時代謝量、共同、第7回日本栄養改善学会近畿支部学術総会、3月、大阪
12. (学会発表)、ステップテストによる最大酸素摂取量の測定、共同、第7回日本栄養改善学会近畿支部学術総会、3月、大阪
13. (学会発表)、身体計測値の測定者による測定誤差、共同、第7回日本栄養改善学会近畿支部学術総会、3月、大阪
14. (学会発表)、プロ野球選手の食意識と栄養サポートニーズ、共同（筆頭）、第55回日本栄養改善学会、3月、北海道
15. (学会発表)、大阪府における食事摂取状況とその後の活動(3)、共同、第55回日本栄養改善学会、3月、北海道

16. (学会発表)、テキストマイニングによる訪問栄養食事指導の実態と関連因子、共同、第 68 回日本公衆衛生学会、10 月、奈良
17. (学会発表)、コレスポンディング分析による訪問栄養食事指導の実態と関連因子、共同 (筆頭)、第 68 回日本公衆衛生学会、10 月、奈良
18. (学会発表)、Association of gene polymorphism of alcohol metabolizing enzymes and alcohol use with the risk of colorectal tumors、共同、第 68 回日本癌学会、10 月、横浜
19. (学会発表)、Association between coffee intake and the development of colorectal tumors : a prospective cohort study、共同 (筆頭)、第 68 回日本癌学会、10 月、横浜
20. (講演)、栄養学の基本、相愛大学公開講座「メタボダイエット教室」、単独、10 月 31 日、相愛大学

※その他の活動

1. 理事、NPO 法人 栄養ケアプランニング NEST
2. 食事調査、大腸腫瘍患者へのアスピリンによる発癌予防臨床試験、厚生労働省第 3 次対がん総合戦略研究事業「がん化学予防剤の開発に関する基礎及び臨床研究」、2006 年 7 月 - 2012 年 12 月
3. 座長、第 56 回日本栄養改善学会学術総会、9 月
4. コンテンツ監修、薬剤師のための実践栄養学、2009 年 10 月 - 2010 年 9 月、(株)メディセオ
5. 大学コンソーシアム大阪 2009 年度地域連携事業、2009 年 11 月 - 2010 年 2 月、大阪産業大学、大阪電気通信大学、相愛大学 3 大学連携

※受賞

1. 太田いそ研究奨励賞、大阪府栄養士会、5 月
2. 準優秀賞、社会人基礎力育成グランプリ 2010 西日本予選大会、経済産業省、12 月

並 河 信太郎 (発達栄養学科)

1. 『給食経営管理実習／演習』、共著、4 月、培風館、田中敬子・前田昭子以下 7 名省略、総 104 頁
2. (講演)、「箕面市における食といのちの取り組みを通して～保育所への提言～」、単独、2 月、箕面市教育センター、箕面市
3. (講演)、「朝食から子どもの生活を考える」、単独、2 月、大阪市立加賀屋小学校、大阪市小学校教育研究会学校給食部

4. (講演)、「食に関する指導の指導体制」、共同、2月、大阪市教育センター、大阪市教育委員会
5. (講演)、「これからの学校給食の運営と栄養教諭」、単独、6月、守口市市民会館、日本地域連携管理栄養士会
6. (講演)、「学校における食に関する指導」、単独、6月、大阪市立南市岡小学校、大阪市立南市岡小学校
7. (講演)、「給食経営とその指標」、単独、8月、滋賀県立大学、日本給食経営管理学会
8. (講演)、「食に関する指導の実践と評価について」、単独、8月、堺市産業振興センター、堺市教育委員会
9. (講演)、「学校における食に関する指導」、単独、10月、大阪歯科大学、第28回日本小児歯科学会近畿地方会大会
10. (講演)、「学校における食育に関する指導について」、単独、11月、大阪市立鯉江小学校、大阪市教育センター
11. (講演)、「今、栄養教諭に求められるもの」、単独、11月、たかつガーデン、大阪府教職員組合栄養職員部

早川史子(発達栄養学科)

1. 『つくってみよう滋賀の味』、共著、10月、サンライズ印刷、堀越昌子ほか19名、総140頁
2. 茶粥習慣の分布と伝播、単著、3月、人間文化25号、滋賀県立大学、査読無、pp 3-14
3. 女子の年齢階層別による飲み物の飲用比較、共著、3月、東海学園大学研究紀要シリーズB、人文学・健康科学研究編14、東海学園大学、査読無、韓順子・谷伊織・早川史子、pp 143-152
4. (学会発表)、豆乳・牛乳による緑茶の苦味抑制効果について、長島真弓・梅村彩江・鈴木優美・岡崎章子・早川史子、日本調理科学会平成21年度大会、8月28日、同志社女子大学今出川キャンパス、日本調理科学会
5. (講演)、茶粥習俗の分布と伝播、単独、茶学の会、8月22日、名古屋豊茗会会議室、社団法人豊茗会
6. (講演)、茶と人のかかわり、単独、淡海生涯カレッジ、11月14日、滋賀県立大学、彦根市教育委員会
7. (研究助成報告会)、茶粥習俗の起源と伝播・分布-佐渡島・隠岐の島・瀬戸内海の島々を中心に-、単独、アサヒビール学術振興財団研究助成報告会、

10月27日、アサヒビール吾妻橋ビル、アサヒビール

8. 2008年度湖っ子食育大賞被表彰校選考審査会審査員、滋賀県教育委員会(1月18日)
9. (コメンテーター)、学校給食を活用し、地域・家庭と連携した食育推進の取り組み、11月26日・大津プリンスホテル、第60回全国学校給食研究協議会大会、文部科学省・滋賀県教育委員会・大津教育委員会・全国学校給食会連合会・財団法人滋賀県学校給食会

※その他の活動

日本食生活学会評議員、1994年5月～現在に至る

日本栄養食糧学会参与、1996年2月～現在に至る

日本栄養改善学会評議員、2003年5月～現在に至る

原 佳央理 (子ども発達学科)

1. 被措置児童等の虐待問題、共著、4月、『よくわかる子ども家庭福祉』第6版、ミネルヴァ書房、編者：山縣文治、共著者：梓川一・石田慎二以下13名省略、pp 138-139

前 田 昭 子 (発達栄養学科)

1. 『給食経営管理実習／演習』、共著、4月、培風館、田中敬子・並河信太郎・前田昭子以下5名略
2. 本学発達栄養学科学生の食生活に関する意識調査(第1報)、共著、3月、相愛研究論集第25巻、相愛大学、査読無、川上瑩子・多門隆子・前田昭子、p 89～103
3. (学会発表)、短大生の味覚能力と食生活との関係性、共同発表、濱口郁枝・前田昭子以下3名略、第6回栄養改善学会学術総会、9月2日～9月4日、札幌コンベンションセンター、特定非営利活動法人 日本栄養改善学会

※その他の活動

日本食育学会評議員

丸 谷 宣 子 (発達栄養学科)

1. **Fundamental Theories and Educational Contents of Diet and Nutrition Education Adapted to Human Development and Behavior Changing**  
—Proposes Regarding Four Areas of Diet and Nutrition Education Corresponding to Learning Stages Founded on Theory by Piaget, J. and Be-

havior Changing Theory by Prochaska, J concerning Level-based Instruction on Healthy Eating Behavior and Instruction of Practice (Modeified by Maruya, N.) 一, 相愛大学研究論集 25, 139-149、(英文共著・筆頭)

2. 産官学連携食育のポピュレーションアプローチとしての課題-その1 健康おおさか 21 食育企業団による食育と幼児期・青少年期の学習発達への対応、相愛大学研究論集 25, 139-149 (共著・筆頭)
3. 『栄養教諭論-理論と実際-(金田雅代編)』、第8章発達に応じた食に関する指導と食生活、学習教材、100-121、建白社
4. 『管理栄養士技術ガイド(中村丁次編)』、文光堂、104-112

※その他の活動

1. 文部科学省中央教育審議会(青少年部会)委員
2. 文部科学省「地域の産物を活用した学校給食助成事業選定委員会」委員
3. 文部科学省各府県食育推進事業指導助言者
4. 文部科学省主催 全国学校給食研究大会指導助言者
5. 相愛大学 人間発達研究所主催 食育シンポジウム「産官学でつくりあう食育」企画運営・シンポジスト講演・コーディネイター
6. 相愛大学公開講座講師
7. 産官学連携食育推進事業「イズミヤ愛情バランス弁当コンテスト」運営・選考委員
8. 大阪ポートタウン地区・地域連携食育推進事業「食育推進キャンペーン」企画・運営
9. 神戸大学附属住吉小学校教育研究会(食育)共同研究・指導助言

※特記すべき事項

1. 学校給食120周年記念 文部科学大臣表彰受賞(文部科学省全国12人)

水野 浄子(発達栄養学科)

1. 'Lysobacterenzymogenes ssp, cookii' Christensen 1978 should be recognized as an independent species, *Lysobacter cookii* sp. nov. 共著、FEMS Microbiol Lett 298、査読有、pp 118-123
2. 産官学連携食育のポピュレーションアプローチとしての課題 その1. 健康おおさか 21・食育推進企業団による食育と幼児期・青少年期の学習発達への対応、共著、3月、相愛大学研究論集第25巻、相愛大学、査読無、pp 113-137



3. **Fundamental Theories and Educational Contents of Diet and Nutrition Education Adapted to Human Development and Behavior Changing**、共著、3月、相愛大学研究論集第25巻、相愛大学、査読無、pp.139-149
4. (学会発表)、**Structural modification and host-responses of a serotype-specific glycopeptidolipid derived from *Mycobacterium intracellulare* serotype 13**、合田麗奈・中崇・前田伸司・水野浄子・小林貴美子・藤原永年、第82回日本生化学会
5. 「***Mycobacterium intracellulare* 由来血清型7、12、13型糖ペプチド脂質の構造類似性とオリゴ糖解析**」、共著、3月、第82回日本細菌学会

※その他の活動：

1. 日本栄養改善学会 評議員
2. 日本栄養改善学会 近畿支部役員
3. 日本調理科学会 近畿支部委員
4. 大阪市立大学大学院医学研究科細菌学分野客員教授

村 井 陽 子 (発達栄養学科)

1. 産官学連携食育のポピュレーションアプローチとしての課題、共著 (相愛・丸谷宣子ほか18名)、3月、相愛大学研究論集第25巻、査読無、pp.113-137
2. **Fundamental Theories and Educational Contents of Diet and Nutrition Education Adapted to Human Development and Behavior Changing**、共著 (相愛・丸谷宣子ほか4名)、3月、相愛大学研究論集第25巻、査読無、pp.139-149
3. (パネリスト)、食物アレルギーから考える食の安全安心、共同 (大阪府立呼吸器アレルギー医療センター・亀田誠ほか3名)、平成21年度食の安全安心シンポジウム、11月8日・相愛学園講堂、大阪府健康医療部
4. (講演)、「見直しませんか？日本型食生活」、単独、住之江区学校保健大会、12月3日・住之江区民ホール、住之江区学校保健協議会
5. (委員)、地場産物を活用した学校給食情報化推進事業・全国学校栄養士協議会大阪府支部地場産物等調査委員会、10月-12月、文部科学省委託事業

山 本 和 明 (子ども発達学科)

1. 資料・黎明期速記者発言抄、単著、3月、相愛大学研究論集25巻、査読無、pp.31-46
2. 十九世紀の〈旅路〉、単著、3月、研究年報3 (相愛大学人文科学研究所)、

査読無、pp.14-24

3. 読本の〈近代〉、論文は単著、10月、『日本のことばと文化-日本と中国の日本文化研究の接点-』溪水社刊、pp.247-263
4. 日本書誌学大系98『蘆庵文庫目録と資料』、共著、10月、青裳堂書店刊、蘆庵文庫研究会（山本和明・飯倉洋一・大谷俊太ほか3名）、総800頁、うち資料編 pp.402-796（山本ほか4名担当、抽出不可）
5. 牡丹づくし-京伝『浮牡丹全伝』贅言、単著、10月、日本文学58巻10号（日本文学協会）、査読有、pp.41-51
6. 裨官者流の〈明治〉、単著、11月、文学10巻6号（岩波書店）、査読無、pp.69-81
7. リプリント日本近代文学第5期『咄表詩話』解題、単著、3月、国文学研究資料館発行、pp.159-160
8. （研究会発表）、『成田山御利生記』追補ならびに『百猫画譜』に関する覚書、単独、仮名垣魯文研究会第10回研究大会、1月11日、国文学研究資料館、同館研究プロジェクト「開化期戯作の社会史的研究」
9. （研究会発表）、魯文『花槽根分大歌舞』概観、単独、仮名垣魯文研究会第11回研究大会、7月19日、国文学研究資料館、同館研究プロジェクト「開化期戯作の社会史的研究」

※その他の活動

1. （委員）、日本近世文学会「近世文藝」編集委員、07年6月-09年6月
2. （委員）、日本文学協会委員、05年度-08年度（09年11月迄）
3. （委員）、国文学研究資料館調査収集委員、08年4月-現在
4. （共同研究）、開化期戯作の社会史的研究（国文学研究資料館研究プロジェクト）共同研究員、04年4月-現在
5. （共同研究）、十九世紀の出版と流通（国文学研究資料館基幹研究）共同研究員、06年4月-現在
6. （共同研究）、近世風俗文化の形成-忍頂寺務草稿および旧蔵書とその周辺（国文学研究資料館公募型共同研究・代表飯倉洋一）研究分担者、08年4月-現在
7. （社会貢献）、国文学文献資料調査員（国文学研究資料館）、97年4月-現在
8. （社会貢献）、インターンシップコーディネータ（大学コンソーシアム大阪）、08年4月-現在

合 田 麗 奈 (発達栄養学科助手)

1. (産官学連携食育のポピュレーションアプローチとしての課題、共著、3月、相愛大学研究論集 25、査読無、(丸谷宣子、多門隆子、水野浄子、丸谷幸子、村井陽子、中村富子、宮原公子、前田昭子、太田美穂、川上瑩子、並河信太郎、小林貴美子、堀野成代、宇野瞳、合田麗奈、景山洋子、柴田満、谷脇亜希子、黒川通典、山口繁)、pp.113-137
2. (学会発表)、*Mycobacterium intracellulare* 由来血清型 7、12、13 型糖ペプチド脂質の構造類似性とオリゴ糖解析、共同 (藤原永年、中田登、中崇、水野浄子、合田麗奈、牧野正彦、吉村満美子、松本壮吉、前田伸司)、第 82 回日本細菌学会、3月13日、名古屋国際会議場、日本細菌学会
3. (学会発表)、**Structural modification and host-responses of a serotype-specific glycopeptidolipid derived from *Mycobacterium intracellulare* serotype 13**、共同 (Reina Goda · Takashi Naka · Seiko Mizuno · Kimiko Kobayashi · Nagatoshi Fujiwara)、第 82 回日本生化学会大会、10月24日、神戸国際展示場、日本生化学会

小 林 貴美子 (発達栄養学科助手)

1. 産官学連携食育のポピュレーションアプローチとしての課題その 1. 健康おおさか 21・食育推進企業団による食育と幼児期・青少年期の学習発達への対応、共著、3月、相愛大学研究論集 25、査読無、pp.113-137
2. (学会発表)、**Structural modification and host-responses of a serotype-specific glycopeptidolipid derived from *Mycobacterium intracellulare* serotype 13**、共同 (合田麗奈・中崇・前田伸司・水野浄子・小林貴美子・藤原永年)、第 82 回日本生化学会大会、10月、日本生化学会

谷 脇 亜希子 (発達栄養学科助手)

1. (学会発表)、**Association of gene polymorphism of alcohol metabolizing enzymes and alcohol use with the risk of colorectal tumors**、共同、(Akiko Taniwaki, Hideki Ishikawa, Tatsuya Takeshita, Tomiyo Nakamura, Kanehisa Morimoto, Toshiyuki Sakai, Nariaki Matsuura)、第 68 回日本癌学会学術総会、10. 1~10. 3、横浜